

The Kamenori Community かめのりコミュニティ

財団法人かめのり財団は、日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を通じて、
未来にわたって各国との友好関係と相互理解を促進するとともに、
その架け橋となるグローバル・リーダーの育成を目的に事業を行っています。

財団法人
かめのり財団
Kamenori The Kamenori Foundation

2009年7月 No. 1

今号の内容

- ◇【長期】高校生交換留学プログラム
出発と来日
長期派遣プログラム奨学生募集
- ◇【短期】高校生交換留学プログラム
中国短期交流スタート
- ◇大学生招へいプログラム
第1期生旅立ちと新奨学生来日
- ◇第3回かめのり賞募集のご案内
- ◇奨学生のことば
- ◇今後の予定

韓国へ出発前の懇談会



【長期】高校生交換留学プログラム

アジアへ出発

昨年、第3期生に選ばれた13名の派遣生が今年1月から順次、アジアへ向けて出発しています。6月までに11名がアジア各国での生活を始め、言葉の壁、文化の違いに戸惑いながらも、少しずつ現地での生活に溶け込んでいます。

出発前には、財団職員との懇談会を行い、「多民族国家で様々なことを学びたい！」(マレーシア)、「語学学習だけでなく、現地の方の物事に対する意欲を学びたい。」(韓国)、「タイの人のあたたかさ、文化を学びたい。」(タイ)、

「ホストファミリーとの生活を大切に、良い関係を築いていきたい。」(フィリピン)・・・など、留学への意気込みや留学先で挑戦したいことなどたくさんのお話を聞くことができました。

8月には、2名がインドネシア・中国へそれぞれ出発し、また出発から半年が経つマレーシアに留学中のみなさんから体験レポートが届く予定です。どのようなレポートが届くのか楽しみにしています。



上：マレーシアに留学中の派遣生
下：タイへ出発前の懇談会

かめのりコミュニティ

【長期】 高校生交換留学プログラム

アジアから来日

3月下旬、アジア各国から24名の受入生が来日しました。到着後のオリエンテーションの後、それぞれの配属地域へ移動し、ホストファミリーとの生活、そして4月からは学校が始まりました。来日してから、3ヶ月あまりが過ぎ、日本語を一生懸命勉強しながら、学校生活、ホストファミリーとの生活で充実した毎日を送っています。

日本到着後の懇談会では、西田事務局長からかめのり財団についてや留学生に期待することを話した後、ひとりひとり自己紹介をしてもらいました。

「日本の文化や技術に興味があり、留学先として日本を選んだ。また自分の国の文化などについても広く知ってもらえるように努力したい。」「たくさんの友だちを作り、お互いの文化や習慣について学び合いたい。」・・・など、これから始まる日本での生活に期待をふくら

ましていました。なかには、日本語で一生懸命自己紹介してくれた生徒もいました。多くの受入生が、日本に対する知識を深めるだけでなく、自分の国についても知ってもらいたい、伝えたいという強い意識を持っていました。自分の国と日本をつなぐ架け橋として、ぜひ多くのことを伝えてもらいたいと思います。

ホームページでは、第3期生の紹介や体験レポートを掲載しています。受入生が異文化の中でどのように感じ、どのような新しい発見をし、そして困難を乗り越え、成長していく様子がよくわかります。ぜひご覧ください。

かめのり財団 高校生交換留学 ホームページ
<http://www.kamenori.jp/koukousei/>



来日時の懇談会の様子



受入生から手作りの記念品贈呈



上3点：アジア各国からの受入生のみなさん

長期派遣プログラム奨学生募集

当財団では、(財)エイ・エフ・エス日本協会および(財)ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団の長期派遣プログラムを通じて、現在、来年出発予定の第4期生を募集しています。本年度は、中国、マレーシア、タイ、フィリピン、韓国、インドネシアへ12名の奨学生を募集しています。詳しい募集要項については、(財)エイ・エフ・エス日本協会、(財)ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団へ直接お問い合わせください。

(財)エイ・エフ・エス日本協会
<http://www.afs.or.jp/>

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-16-16 2F
TEL: 03-3357-5831 FAX: 03-3357-5841

(財)ワイ・エフ・ユー日本国際交流財団
<http://www.yfu.or.jp/>

〒107-0062 東京都港区南青山1-15-9 第45 興和ビル
TEL: 03-3404-0141 FAX: 03-3404-1820

【短期】高校生交換留学プログラム

中国短期交流スタート

2008年度から始まった短期交流プログラム。本年度は昨年の韓国に加え、中国との交流が実現しました。このプログラムは、約1ヶ月、ホストファミリーと生活を共にし、語学や文化の学習、滞在地域の高校生との交流や文化施設などを視察するものです。約1ヶ月という短い期間ですが、長期プログラム同様に、参加した高校生は、様々な文化、習慣の違いを感じ、人々のあたたかさに触れ、お互いを受け入れ理解する事の大切さを学んでいます。

第2期生として、中国へ派遣される5名の日本の高校生がすでに決定し、7月中旬に出発の予定です。また、8月には韓国へ5名の日本の



第1期生 韓国からの高校生

高校生が出発。2010年1月～2月にかけては、中国・韓国から5名ずつ留学生が来日する予定です。

大学生招へいプログラム

第1期生旅立ちと新奨学生来日

2007年から2年間、明治大学大学院理工学研究科で建築関係の研究に励んできた姜性湖(Kang Sung Ho)さんが、2009年3月に修了しました。2年間、文化の違いや慣れない日本での生活、ハードスケジュールの研究生活を乗り越え、研究室の仲間と助け合いながら、無事終わりました。4月からは日本の企業に就職し、新社会人の一人として活躍しています。また、2009年度は韓国から新たに2名の奨学生、趙賢雅(Jo Hyeon A)さん、尹一喜(Yoon Il Hee)さんを迎えました。4月から、

趙賢雅さんは立命館大学大学院にて日本語教授法を、尹一喜さんは東洋大学大学院にて社会福祉関係の研究をしています。2人が、韓国で身につけた知識を日本でさらに深め、研究に励まれる事を期待しています。

本年度から大学院奨学生同士の交流を目的とした研修を夏に行います。お互いの研究内容の発表や日本での生活、感じた文化の違いなど、それぞれの体験を話し合える有意義な場となることを願っています。



左：大学生の歓送迎会
右：姜性湖さん
学位記を手

第3回かめのり賞 募集のご案内



第3回となる『かめのり賞』は、日本とアジア・オセアニアとの相互理解の増進に草の根で貢献している方々の活動を顕彰し、支援します。交換留学、文化・スポーツなどの青少年交流、語学教育などの活動をしているNPO(非営利団体)、ボランティアグループ、個人を対象としています。10件に対し、本賞の記念の楯と活動奨励金を贈呈するものです。これまでに、15団体・2個人を表彰しました。詳しい募集要項は、ホームページをご覧ください。ご応募お待ちしております。

本年度もたくさんの方からのご応募をお待ちしております。

第3回かめのり賞募集要項

<http://www.kamenori.jp/kamenorishou.html>

事務局 担当：菊地

TEL：03-3234-1694 (9:30～17:30)

E-mail：info@kamenori.jp

奨学生のことば

体験レポートの中から、印象に残る文を紹介します。

「私がマレーシアで学んだこと、体験したことはたくさんありますが、その中で一番大切だと思うことは、いつも笑顔でいることの大切さです。マレーシアの人はみんないつも笑顔です。そしてマレーシアに行けば誰もが気づかないうちに笑顔になっていることでしょう。日本人にはまだまだ笑顔が足りない気がします。笑顔でいるだけで全てがうまくいくような気がするのは私だけでしょうか。」
(2008年マレーシアへ留学 守谷直子さん)

「(研究室の仲間と2年間過ごし) とくに私は、学ぶ対象と出会い多様な考えを生み出す力、仲間の考えをつなぎながら新たな考えを生み出す力、自分と学び合う仲間とのつながりに気付く力、仲間との学び合いによる自分の成長に気付く力をみなからもらいました。これは学校の生活で得た最大の財産だと思っています。」
(2009年3月大学院修了 姜性湖さん)

「一見、よく似ている東洋文化圏の国でちょっとした違いで大きな文化の違いを感じました。それも一年間日本で過ごせたからこそ分かったことです。また、最後まで頑張った自分を誇らしく思い、私が最後まで頑張れるようにいつも私の味方でいてくれた韓国の家族や友達にもものすごく感謝します。」
(2008年韓国から留学 Kim Hyun Gyong さん)

「(通学していた) 高校から重要な教訓を学びました。一つは、環境を自分で整備する事です。校内を掃除して、少しずつ地球を保護する事は可能だと思います。もう一つは、人間関係を尊重しなければなりません。自分と他人や先生や先輩や後輩や同級生などの関係があります。どの世界でもどの国でも人と人との関わりがあり、人間関係を大切にするとする事を感じました。」
(2007年フィリピンから留学 Carissa Rodis さん)

今後の予定

2009年

- 7月 理事・王敏講演会 近畿大学附属新宮高等学校で開催
【短期】第2期生中国へ出発
- 8月 【短期】第2期生韓国へ出発
【長期】第3期生中国・インドネシアへ出発
【長期】第4期生(セメスター) インドから来日
- 9月 第3回かめのり賞応募締切
- 10月 中学生中国派遣プログラム(「好朋友特使」派遣事業)実施
- 11月 理事・王敏講演会 釧路北陽高等学校 / 松江市立女子高等学校で開催
- 12月 第3回かめのり賞選考結果発表



＜ 編集後記 ＞

今年4月で当財団は4年目を迎えました。より多くの方々に活動の様子をお伝えしたく「かめのりコミュニティ」の発行が実現しました。このような活動の報告ができるのも多くの関係者のご支援、ご尽力のおかげです。感謝申し上げます。関係者すべての方に、感謝の意を込めながら今後の誌面づくりに取り組んでいきたいと思っております。(菊地)

発行人 / 西田 浩子
編集 / 菊地 佐智子
デザイン / イワブチサトシ (BUTI design)



日本とアジア・オセアニアの若い世代の交流を支援します！

財団法人 **かめのり財団** The Kamenori Foundation

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-5 共立麹町ビル 103

TEL : 03-3234-1694 FAX : 03-3234-1603

E-mail : info@kamenori.jp URL : http://www.kamenori.jp/